

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立階上中学校

採択活動名

防災・減災を軸とした海洋教育～個人探究を通して、地域・社会とのつながりについて考える～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 個人探究を通して、地域・社会とのつながりについて考える	全学年	総合
2.		
3.		

取り組みの概要

1 講話・ワークショップ

探究学習の進め方についてガイダンスをした後に、市探究学習コーディネーターに協力をもらい、生徒に学習の素地を身に付けさせるため、問いを立てるためのワークショップを実施した。次に、生徒たちの知識の量を増やし、視野を広げさせるため、各分野（津波防災、震災の歴史と伝承、漁業、食、気候変動による地球環境問題等）の専門家から講話を受けた。

**2 探究学習**

探究テーマを防災に限定せず、生徒が講話やワークショップを聴いて興味・関心を持った内容を自由に選択させ、個人探究に取り組ませた。海洋をテーマに設定した生徒には、課題設定の場面で海洋教育副読本を配布し参考にさせた。聞き取りやアンケート調査、実地踏査、文献研究等での情報収集、比較、分類、関連付けを行い、課題解決を図った。特に、海洋ごみ問題に関心を持った生徒のうち、希望者が「World Cleanup Day」に学区内のお伊勢浜海水浴場を実地踏査しながら、砂浜の清掃活動を実施した。さらに、海外の生徒と海洋ごみをテーマに意見交流した。



12月には、探究学習発表会を実施し、学習の成果をまとめたスライドやポスター、パンフレット等を保護者や地域の方々に発信した。

3 体験活動

主に震災遺構等の施設を訪問した。1年生は、リアスアーク美術館と気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を見学し、津波による甚大な被害や震災の伝承についての理解を深めた。2年生は、海の価値を最大限に生かしている女川町を訪問し、中心部を見学した。気仙沼市や自分たちが考えた「海と生きる」気仙沼の復興まちづくりへの取組の参考とした。



また、地震津波災害を想定した階上地区防災訓練、避難所初期設営訓練を、気仙沼市総合防災訓練の日程に合わせ、毎年全校体制で実施している。継続的に実施することで生徒の地域の一員としての自覚と地域住民の防災・減災意識の高揚が図られている。